

障害者団体に対するヒアリングについて

団体名 公益社団法人全国精神保健福祉会

地域の就労支援の在り方を検討するに当たって、以下の質問について、下記の枠内に簡潔にお答えください。なお、参考資料を添付する場合であっても、ご回答は枠内に記載していただくよう、お願いします。

① 求職活動を行うに当たって、各就労支援機関に求めること（支援等）はなんですか。

- ・ 地域における就労支援機関は、対象者を知的障害者に限定しているところが多く、精神障害者の就労支援は地域活動支援センターや事業所の職員が、自分の仕事と兼ねがら支援している状態で、十分な支援が行われているとは言えません。精神障害者の就労支援体制の充実が必要であります。
- ・ 障害特性を理解した支援者の配置が不可欠であり、精神障害に関しては、個別に症状があり、個別支援が必要と考えます。

② 企業において継続して働き続けるために、各就労支援機関に求めること（支援等）はなんですか。

- ・ 単に就労させることでなく、仕事上のことや人間関係など困ったことが相談できる場となってほしいです。週1回ほど仕事帰りの人たちが集まって、話し合えるようなたまり場的な存在であることも必要です。
- ・ また、日常生活の困りごとにも配慮できるような支援を望みます。障害者就労・生活支援センターの役割を明確にし、就労支援機関と有効な関係性をもつようにすべきと思います。

③ ①及び②のほか、各就労支援機関に求めること（支援等）はなんですか。

精神障害者は日常的に医療との関わりが必要です。医療機関関係者と情報を共有し、連携して支援してください。

④ 上記のほか、ご意見等があればお書きください。

精神障害者の就労支援の現場では、マンパワー不足が課題です。特に精神障害者に精通する専門職を養成することが必要です。
そのための財源の確保をお願いいたします。

以上、ご協力ありがとうございました。